

飼い主責任を果たそう!

飼いはじめたその日から、ペットの命は飼い主のあなたにゆだねられます。
飼い主には**ペットの命を預かる責任**と、**社会に対する責任**の両方が必要になります。

ペットの命を 預かる責任



ペットの健康と安全に気を配り、
ペットの種類にあった快適な環境を整える責任

● 世話と観察

飼い主は毎日の世話を通して、
ペットの体の状態や行動、食事の
量、糞や尿の状態などを
よく観察しましょう。
毎日しっかりと観察する
ことで、いち早く異常を
見つけられるでしょう。



● 繁殖制限措置

ペットの繁殖をコントロールすることは、
飼い主の責任です。ペットの性的なストレス
を軽くし、数が多くなりすぎないように、繁殖
をコントロールしましょう。

犬や猫の場合、望まない繁殖を防ぐ確実な
方法は**不妊去勢手術**です。繁殖を予定して
いないのなら、繁殖制限措置を行きましょう。

● 住環境

ペットの種類によって、適した温度や湿度などスペースや設備
が違います。種類にあった住環境を整えましょう。

ペットを飼う場所はこまめに掃除をして清潔を保ち、壊れてい
たり、危険な箇所がないかなどの点検も定期的に行いましょう。

● 食べ物

年齢や健康状態に合った
栄養バランスのとれた食べ物
を与え、いつでも新鮮な水を
飲めるようにしましょう。



社会に対する 責任



ペットが周りの人に迷惑をかけないように、
社会のルールやマナーを守る責任

社会に対する責任を果たせているかどうかは、飼い主ではなく、周囲や近隣の方々が判断することです。

ペットが嫌いな方や苦手な方も多いことを十分に理解し、ルールとマナーを守り、
地域社会に迷惑をかけないようにしましょう。

